



石川早生芋(大阪府環境農林水産部農政室提供)



石川早生芋の子芋ご飯



発行所
大阪府農業会議

大阪府中央農人橋2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
<http://www.agri-osaka.or.jp>
発行人 中谷 清

明けまして
おめでとう
ございます



令和8年元旦
大阪府農業会議
役職員一同

年金の
お受け取りは
JAで

JAバンク大阪(JA/信連)

JA/バンク大阪へ

検索

新たななにわの伝統野菜
河南町原産の「石川早生芋」

南河内や泉州地域を中心
に古くから生産されるサト
イモ「石川早生芋」がこの
ほど、大阪府「なにわの伝
統野菜」に認証された。

農業会議が昭和58年に編
纂した「大阪府農業史」に
は、「石川早生種が南河内
郡石川村(現河南町)を原
産とすることは広く知られ
ているが、聖徳太子が生前
墓地を磯長村(現太子町)
叡福寺に造営された時に、
奈良の法隆寺から持参した
芋の一株が土地に適し、付
近の篤農家によって改良さ
れたのが始まりといわれて
いる」と来歴の記録がある。

また、この土地に適した
生育条件については、昭和
28年の「大阪府農林水産
業」で、「南河内郡地帯は
第3世紀層に属する粘質土
壤で耕土が深く、良質のも
のを産し(中略)泉南地帯
では殆ど、たまねぎの後
作とされ、砂質壤土あるい
は粘質壤土に栽培されてい
る」とある。昭和33年、大
阪は約360haの栽培面積
を誇る一大産地であった。

サトイモは、正月料理に
おいて、子孫繁栄を象徴す
る縁起物。未永く繁栄する
大阪農業の未来を切に願う。

(沼田)